

「市報行方」で振り返る市制施行20周年

行方市は、平成17（2005）年9月2日に合併して、本年で20年になります。市報行方の発行は、20年間で240号を数え、各号で市の「今」を伝えてきました。本号では、市の20年を市報行方で振り返りたいと思います。

【10月】

- ・行方市消費生活センターがオープン



【4月】

- ・統合玉造幼稚園が開園
- ・行方市観光物産館「こいこい」がオープン



【11月】

- ・7色帆引き船が初操業



【9月】

- ・9月2日麻生町、北浦町、玉造町の合併により「行方市」が誕生（人口40,770人、11,371世帯）

平成21年
2009年

平成20年
2008年

平成19年
2007年

平成18年
2006年

平成17年
2005年



●市報50号

【4月】

- ・玉造中新校舎が竣工



【9月】

- ・市民憲章を制定



【11月】

- ・旧畑家住宅（麻生藩家老屋敷記念館）が県指定文化財に登録



【4月】

- ・鹿島アントラーズのホームタウンに参画



【12月】

- ・市の花（ヤマユリ）・木（イチョウ）・鳥（シラサギ）を制定



編集エピソード①



■ 105号 (平成26年5月号)

新校舎の前で、閉校した小学校のそれぞれの体操服を着てもらって撮った1枚。統合して新しい小学校になっても、昔の小学校をいつまでも忘れないでほしい、そんな思いを込めて表紙にしました。



■ 68号 (平成23年4月号)

東日本大震災で日常が一変しました。余震が続く中で、災害関連の正確な情報を、一刻も早く市民の皆さんに届けるため、発行間際のギリギリまで「今、必要なこと、伝えるべきこと」を必死にまとめました。

[9月]
・市制施行 10周年
 (人口36,856人、12,760世帯)



[3月]
 ・太田小、大和一小、大和二小、大和三小が閉校

[4月]
 ・天王崎観光交流センター「コテラス」がオープン

・麻生東小が開校

[5月]
 ・行方市マスコットキャラクターの名称が「なめりーミコット」に決定



[3月]
 ・行方市無料職業相談所を開設
 ・東日本大震災(震度6弱)、行方市災害対策本部を設置



[10月]
 ・大和三小跡地を活用した「なめがたファーマーズヴィレッジ」がオープン



[9月]
 ・「なめがた大使」誕生、6人に委嘱



平成27年
2015年

平成25年
2013年

平成23年
2011年

平成26年
2014年

平成24年
2012年

平成22年
2010年



●市報 100号

[3月]
 ・玉造小、手賀小、玉川小、現原小、玉造西小、羽生小が閉校



[3月]
 ・麻生小、行方小、小高小、小貫小、三和小、麻生中、麻生一中が閉校
[4月]
 ・統合麻生小、統合武田小、統合麻生中が開校



[3月]
 ・茨城空港が開港
 ・行方市農業振興センター、ふれあい情報館がオープン



[4月]
 ・統合玉造小が開校
 ・統合麻生幼稚園が開園

[11月]
 ・第1回行方ふれあいまつりが開催



[9月]
 ・「なめがた大使」4人に委嘱
 ・「行方市のうた」を発表
 ・市民交流促進総合ポータルサイト「なめがた日和」が開設



[6月]
 ・「手賀ふれあいの森」が開園



[9月]
 ・市制施行 5周年
 (人口38,552人、11,713世帯)

編集エピソード② (連載編)



■ 80号(平成24年4月号)～140号(平成29年4月号)
心を入れて育てている生産者のお話を伺うのは、月に一度のとても楽しい時間でした。取材時の私のこだわりは「手書きのメモ」で、一言も聞き逃さないよう、耳も手もフル稼働。メモを読み返しながらか、校了日のギリギリまで推敲しました。取材のたびに、生産者のお人柄に触れて心が温くなりました。



■ 57号(平成22年5月号)～79号(平成24年3月号)
学校統廃合前、市内には小学校が18校、中学校が4校ありました。22校全ての校舎を訪ね、先生方の思いや在校生の声を取材しました。廊下を走る音、教室から響く笑い声、黒板に残るチョークの文字。一つ一つが、その学校の歴史であり、地域の宝だったように思います。

市報行方 デジタルブック 「カタボケ」

平成29年5月導入
(茨城県内初)

- ・文字が大きく見やすい
- ・音声読み上げ
- ・多言語対応 (10言語)



【3月】

・第1回茨城100k ウルトラマラソン in 鹿行(R OKKO) が開催

【8月】

・第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」が開催

【11月】

・「つくば霞ヶ浦りんりんロード」がナショナルサイクルルートに指定



【2月】

・なめがたお仕事情報局が開局

【10月】

・JAなめがた甘藷部会連絡会が第56回農林水産祭で「天皇杯」を受賞



令和2年
2020年

【3月】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により小・中学校が休校
- ・水の科学館が閉館



【9月】

- ・「行方ブランド」ロゴマークを策定
- ・市制施行15周年 (人口33,913人、12,996世帯)



平成30年
2018年

【3月】

- ・なめがたエリアテレビ簡易劇場が完成、行方市情報交流センターがオープン
- ・三味塚古墳出土資料が国指定重要文化財に登録



平成29年
2017年



●市報150号

平成28年
2016年

【3月】

・津澄小、要小、武田小が閉校

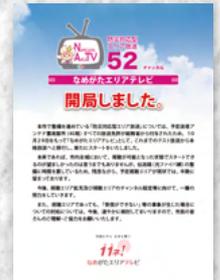
【4月】

・北浦小が開校



【10月】

・なめがたエリアテレビが開局



●令和3年7月



●令和3年3月



●令和2年11月



●令和2年8月

臨時号

緊急のお知らせや、通常号では伝えきれない情報を、市民の皆さんに迅速に伝えるために発行しました。

編集エピソード③



■ 216号 (令和5年8月号)

撮影した日は猛暑日。少しでも涼しげな写真を届けたいと思い、水遊びをするお子さんに声をかけ、モデルになってもらうことに。水しぶきがしっかりと写るようにと思い「こっちにいっぱい水をかけて!」と声をかけながら、何枚もシャッターを切りました。撮影が終わったころには、ずぶ濡れになっていました。



■ 176号 (令和2年4月号)

新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休校となった中で挙行された卒業証書授与式。出席者の制限、時間短縮、規模縮小など、初めての状況で戸惑いもありました。しかし、式の最後に行われた卒業生全員での合唱により、感動に包まれる素晴らしい時間となりました。

【2月】

・フィリピン共和国のダナオ市と「友好交流都市協定」を締結



【3月】

・映画『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』で、第15回ロケーションジャパン大賞部門賞「撮影サポート部門」を受賞



【9月】

・市制施行 20周年
(人口31,029人、13,113世帯)
※令和7年8月1日時点

【3月】

・「行方かんしょ」が地理的表示 (GI) 保護制度に登録



【4月】

・榎本スポーツ交流センターがオープン



【1月】

・行方市 EC サイト「なめがたさんちの特選マルシェ」が開設



令和7年
2025年

令和5年
2023年

令和3年
2021年

令和6年
2024年

令和4年
2022年

市報行方のバックナンバー

過去の市報行方は、市公式ホームページ、下記QRコードからご覧いただけます。



市報行方 🔍 検索

【1月】

・能登半島地震

【3月】

・「なめがた大使」2人に委嘱

【4月】

・子ども家庭センター、子ども発達支援センターがオープン

【7月】

・「霞ヶ浦どうぶつとみんなのいえ」がオープン



●市報 200号

【7月】

・聖火リレーを行方市で実施



【11月】

・デジタルガバメント宣言を行う(茨城県内初)



●212号～



●189号～211号



●142号～188号



●45号～141号



●29号～44号



●創刊号～28号

市報行方表紙の移り変わり

少しでも多くの方に手に取って読んでもらえるように、時代とともにデザインを変えながら、工夫を凝らして作ってきました。



懐かしいあの目をふりかえる

旧3町の広報紙をデジタルデータで公開



それぞれの町の最後の広報紙

麻生

北浦

玉造



60年前（昭和40年9月）の広報紙

麻生

北浦

玉造



それぞれの町で伝えた合併のこと

麻生

北浦

玉造



旧麻生町、旧北浦町（村）、旧玉造町それぞれの広報紙を見ることができます。この機会に、昔のイベントや出来事などをホームページで検索してみてください。

過去の広報紙を探しています！

ホームページに掲載されていない旧3町時代の広報紙をお持ちの方は、ぜひご連絡ください。

【問い合わせ】 政策秘書課（麻生庁舎）
☎0299-72-0811

「自分が生まれた年に、どんなことがあったのかな？」「昔、広報紙に載ったことがあるけれど、いつだったかな？」など、そんな疑問にも応えてくれる貴重な記録です。

20周年という節目に、合併前の広報紙を開き、現在の市の基礎となった、旧町それぞれの長い歴史を振り返ってみてはいかがでしょうか。

広報紙の役割は、時代が変わっても変わりません。それは市民の皆さんに大切な情報を届けることです。

本市では、20周年を記念し、合併前の旧3町の広報紙をデジタルデータ化し、市公式ホームページで公開しています。

市制施行20周年記念事業のご案内

2025 なめがた秋祭り

見て、食べて、遊べる、行方の魅力が盛りだくさんの『2025 なめがた秋祭り』を開催します。

- ▶ 期日 11月8日(土)～9日(日)
- ▶ 場所 霞ヶ浦ふれあいランド

【問い合わせ】商工観光課 ☎ 0291-35-2111



※写真は、昨年度のものです。



※ロゴ・写真は、昨年度のものです。

全国焼き芋サミット in なめがた

昨年度開催して大好評だった「焼き芋サミット」。本年度は、昨年度より焼き芋を深く掘り下げつつ、専門家から焼き芋好きな人まで、どなたでも楽しめるイベントとして開催します。

- ▶ 期日 1月16日(金)～18日(日)
- ▶ 場所 鹿行生涯学習センター(レイクエコー) なめがたファーマーズヴィレッジ

【問い合わせ】ブランド戦略課 ☎ 0291-35-3114

生物多様性講演会

※市民等
自主企画

行方市は2つの湖に面しており、豊かな水環境があります。身近な環境保全のため、誰でもお庭で簡単にビオトープができることを紹介する、身近で親しみやすい企画になっています。

- ▶ 日時 12月7日(日) 13:30～15:30
- ▶ 場所 玉造公民館

【問い合わせ】特定非営利活動法人霞ヶ浦アカデミー
メール kasumigaura.academy@gmail.com

テーマ

「自宅でできるビオトープと生物多様性保全」



【講演者プロフィール】

中島 淳 先生 (オйкаワ丸)
湿地帯生物愛好家。X (旧 Twitter) では「オйкаワ丸」として、フォロワー数5万人超の生物系インフルエンサーとしても活躍中。『自宅で湿地帯ビオトープ～生物多様性を守る水辺づくり (大和書房)』の著者



その他記念事業

これまでに実施した事業と、今後実施予定の事業をお知らせします。

- 5月3日(土・祝): 山車祝い曳き(行方市市制施行二十周年山車祝い実行委員会) ※市民主催事業
- 6月14日(土): 歌まねジョイントライブ in 行方市(生涯学習課)
- 9月以降: 日めくりカレンダープロジェクト(政策秘書課)
- 9月以降: 「行方市フォント」制定(政策秘書課)
- 10月～11月: なめキャン2025(商工観光課) など

※事業は、中止や変更となる場合があります。事前にお問い合わせください。

市民主催事業 (市民公募事業) を募集しています。

締め切り
12月26日(金)
提出分まで

市民、団体、事業者等の方々が、市制施行20周年を盛り上げるために、自ら企画実施する事業を募集しています。詳細は、右のQRコードからご確認ください▶

【問い合わせ】政策秘書課(麻生庁舎)
☎ 0299-72-0811

